



# 2020年3月期決算 プレゼンテーション資料

---

2020年5月  
大阪ガス株式会社

# 目次

## I. 20.3期振返り

□ 20.3期振返りまとめ	- 4
□ 国内エネルギー事業の取組み	- 5-8
□ 海外エネルギー事業の取組み	- 9
□ 20.3期の主なトピックス	- 10-11

## II. 20.3期決算と21.3期見通しの概要

□ 20.3期決算及び21.3期見通しのポイント	- 13
□ 21.3期見通しについて	- 14
□ 20.3期決算の対前年比較	- 15
□ 21.3期見通しの対前年比較	- 16
□ 成長投資	- 17
□ 中期経営計画(18.3期-21.3期)の進捗	- 18

## III. 20.3期決算と21.3期見通し

□ 20.3期実績	- 20-24
□ 21.3期見通し	- 25-27
□ 20.3期販売実績	- 28
□ 21.3期販売見通し	- 29
□ 家庭用ガス販売	- 30
□ 業務用等ガス販売	- 31

## IV. 参考資料

□ 20.3期実績差異(対前年)	- 33-34
□ 20.3期実績差異(対見通し)	- 35-36
□ 21.3期見通し差異(対前年)	- 37-38
□ 年度見通しに対するリスク要因	- 39

インターネットを通じて定期的に経営情報を発信しています : 下記のURLで、決算短信、アニュアルレポート、説明会資料等を閲覧・ダウンロードすることが可能です。 <https://www.osakagas.co.jp/company/ir/>

「見通し」に関する注意事項 : このプレゼンテーションには、将来の業績に関する見通し、計画、戦略などが含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。

ガス販売量に関する注記 : 全て、基準熱量を45MJ/m<sup>3</sup>として、表記しています。

連結ガス販売量に関する注記 : 名張近鉄ガス・豊岡エネルギー・新宮ガスは12月決算です。

## I. 20.3期振返り

## 20.3期振り返りまとめ

- 2020年3月期は、中期経営計画の目標達成やその先の成長につながる取組みを実施
- 国内エネルギー事業では組織再編、アカウント拡大、電源開発等に向けた取組みを実施
- 海外エネルギー事業では、成長に向け、上流・中下流事業における展開を加速

### 【国内エネルギー事業の取組み】

#### （組織再編）

- エネルギー分野における中心的役割を担う基盤会社の設立及び組織再編の実施

#### （お客さまアカウント）

- 家庭用のお客さま向け新メニュー「ウィズプラン」の設定
- 業務用のお客さま向け工場IoTサービス「D-Fire」の開始

#### （首都圏）

- アライアンス先の拡大、料金メニューの拡充、プロモーションの実施
- エネルギーインフラ構築に向けた取組み

#### （電源開発等）

- 電源ポートフォリオ拡大に向けた取組み
- 再生可能エネルギー普及に向けた取組み

### 【海外エネルギー事業の取組み】

#### （上流事業）

- 米国シェールガス開発会社Sabine Oil & Gas Corporationの全株式取得
- ゴーゴンLNGプロジェクト、イクシスLNGプロジェクトの安定した稼働
- トレーディング会社の立ち上げ

#### （中下流事業）

- フリーポートLNGプロジェクト、フェアビュー天然ガス火力発電所の商業運転開始
- 米国分散型太陽光発電開発事業者への出資
- AGP出資等、東南アジアにおける事業展開

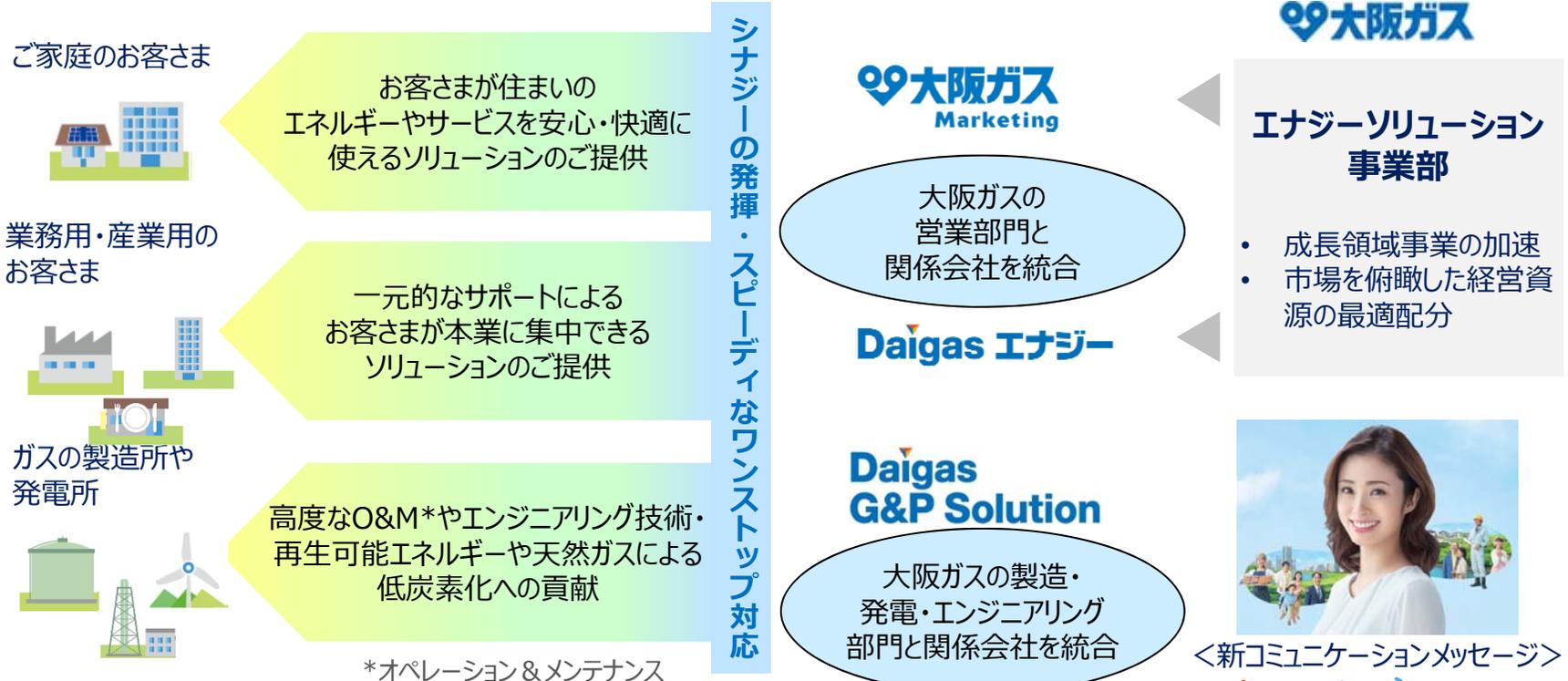
# 国内エネルギー事業の取組み(組織再編)

□ お客さま起点での現場機動力の向上、固有の強みを持つ関係会社とのシナジー発揮を目的に基盤会社を設立し、2020年4月に組織再編を実施

【基盤会社設立と組織再編について】

□ 目的

- ✓ お客さま起点での現場機動力の向上
- ✓ 固有の強みを持つ関係会社とのシナジー発揮



# 国内エネルギー事業の取組み(お客さまアカウント)

- 家庭用のお客さま向けに、料金メニューの拡充
- 業務用のお客さま向けに工場IoTサービス「D-Fire」開始
- 料金メニュー、IoTサービスの拡充等により、お客さまアカウントの拡大を目指す

## 【電気料金メニューの拡充】

**スタイルプラン**：ライフスタイルに応じたメニュー

<p><b>スタイルプランS</b> 住ミカタ・保証パックとセット</p>	<p><b>スタイルプランP</b> Amazonプライムとセット</p>
<p><b>スタイルプランd</b> 電気料金に応じたドコモdポイント付与</p>	<p><b>スタイルプランE</b> 環境にやさしい電気</p>



**ウィズプラン**：好きなことをもっと楽しみたいメニュー

<p><b>ウィズradikoプラン</b> radikoプレミアムとセット</p>	<p><b>ウィズよしもとプラン</b> 大阪チャンネルとセット</p>
--	--

## 【エネファームtypeS新製品の発売】

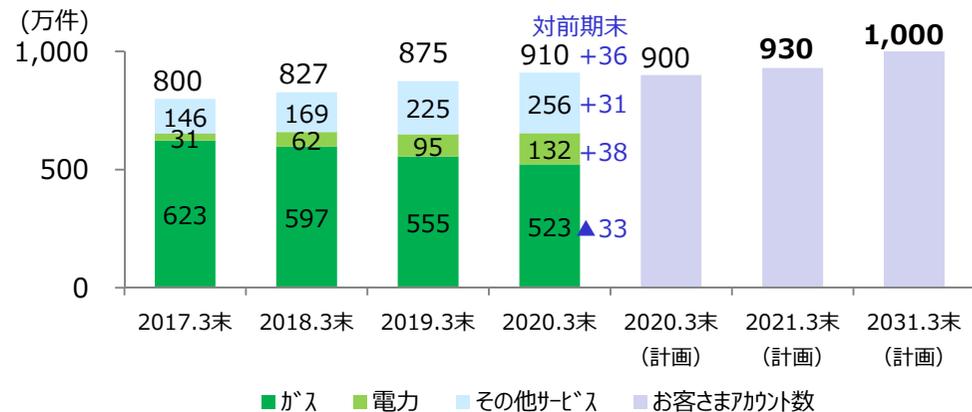


- ✓ 発電効率の向上 (53.5%→55%)
- ✓ 設置性の向上 (設置面積20%削減)
- ✓ お客さまの利便性向上 (IoTを活用したツナガルスイッチ追加)
- ✓ 耐久性の向上 (10年→12年)
- ✓ レジリエンスが注目されている自立運転機能タイプも発売

## 【工場IoTサービス「D-Fire」の開始】



## 【お客さまアカウント数の推移】



# 国内エネルギー事業の取組み(首都圏)

- アライアンス先の拡大、料金メニューの拡充、プロモーション実施等により、2020年4月にエネルギーのお申込み件数20万件を突破
- 更にエネルギーインフラの構築、事業承継による事業基盤拡大等により、首都圏におけるエネルギー事業の成長を目指す



2020年4月時点でお申込件数20万件超



2019年度  
受付開始

## 料金メニューの拡充、プロモーション実施

スタンダードメニュー	+	ライフスタイルメニュー
ライフスタイルメニュー		
KODOMO新聞でんき	読売KODOMO新聞とセット	
エンタメでんき	Amazonプライムとセット	
よしもとでんき	大阪チャンネルとセット	
ポイントでんき	「dポイント」、「楽天スーパーポイント」付与	

## アライアンス先の拡大

- ✓ コープみらい（家庭向け都市ガス取次販売）
- ✓ (株)Loop（家庭向け都市ガス取次販売）

## エネルギーサービスの拡大

- ✓ 東京都西多摩郡瑞穂町地区における電力・蒸気の供給を目的に瑞穂町地域スマートエネルギー(株)の設立

## エネルギーインフラの構築

- ✓ 扇島都市ガス供給(株)の都市ガス製造・供給設備の商業運転開始（2020年4月）



扇島都市ガス供給(株)  
当社出資比率：15%  
製造能力：270t/h

- ✓ 福島天然ガス発電所の営業運転開始  
1号機：2020年4月  
2号機：2020年8月（予定）



福島ガス発電(株)  
当社出資比率：20%  
燃料：天然ガス  
発電容量：118万kW

## 事業基盤の拡大

- ✓ 中部電力、大阪ガスの首都圏における電力販売事業の承継（2020年7月予定）

首都圏  
エネルギー事業  
の成長

# 国内エネルギー事業の取組み(電源開発等)

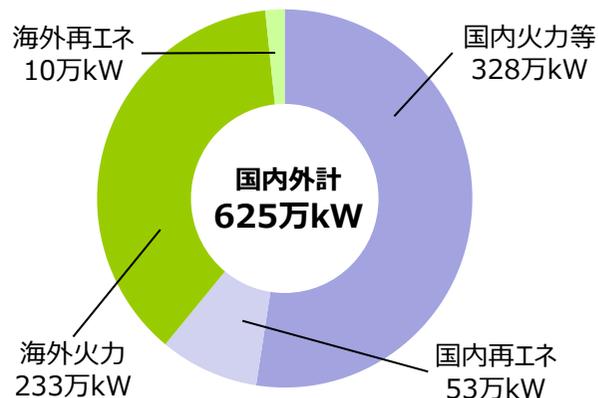
- 姫路天然ガス火力発電所の投資意思決定等により、2030年度電源調達目標900万kWに向けて着実に前進(2020年3月末時点で建設中等含め約625万kWとなり約7割まで進捗)
- 電源の保有に拘ることなく、再生可能エネルギー普及に向けた取組みも国内外で推進

## 【電源ポートフォリオ拡大に向けた取組み】

### 2020年3月末

(建設中/意思決定済の案件含む)

- ✓ 国内計 381万kW (運転中 203万kW)
- ✓ 海外計 244万kW (運転中 244万kW)
- ✓ 再エネ計 64万kW (運転中 34万kW)



## <建設中/意思決定済の電源・取組み>

	発電所名	設備容量
再エネ (国内)	尻別風力発電所	2.70万kW
	市原バイオマス発電所	4.99万kW
	袖ヶ浦バイオマス発電所	7.49万kW
	広畑バイオマス発電所	7.49万kW
	徳島津田バイオマス発電所	7.48万kW
アカシア・リニューアブルズ(株) (マッコーリーグループ) との洋上風力発電事業に関する協力協定の締結		
天然ガス (国内)	福島天然ガス発電所	118万kW
	姫路天然ガス発電所	125万kW

## 【再生可能エネルギー普及に向けた取組み】

(国内)

- (株)ウエストホールディングスとの再生可能エネルギー分野における新規事業の共同検討に関する基本覚書の締結
- お客さま宅の太陽光発電の余剰電力(卒FIT電力)の買取り開始(北米)
- 米国分散型太陽光発電開発事業者SolAmerica Energy社への出資

## 【その他の取組み】

- 山口県宇部市における石炭火力発電所新設計画からの撤退
- 太陽光発電量予測サービス実現に向けた実証開始

# 海外エネルギー事業の取組み

- 北米上流事業会社取得による成長に向けた事業ノウハウ獲得、液化事業推進による利益貢献拡大
- 東南アジアにおける国内エネルギー事業の知見を活かした積極的な事業展開

## 【上流事業・トレーディング】

### （北米）

- 米国シェールガス開発会社Sabine Oil & Gas Corporationの全株式取得  
→ **米国上流事業のオペレーター能力の獲得**、安定的な利益貢献

### （豪州）

- ゴーゴンLNGプロジェクト、イクシスLNGプロジェクトの安定した稼働（トレーディング）
- シンガポールにトレーディング会社「Osaka Gas Energy Supply and Trading Pte. Ltd.」を設立



Sabine Oil & Gas Corporation



ゴーゴンLNGプロジェクト



イクシスLNGプロジェクト  
提供：INPEX

## 【中下流事業】（北米）

### （北米）

- フリーポートLNGプロジェクト第1系列の商業運転開始  
→ **第2・3系列が順次商業運転開始予定**
- フェアビュー天然ガス火力発電所の商業運転開始  
→ **事業ノウハウの蓄積**
- 分散型太陽光発電開発事業者SolAmerica Energy社への出資  
→ **再生可能エネルギーの普及拡大に向けた取組み**



フリーポートLNGプロジェクト  
提供：FLNG Development社



SAE社が過去に開発・建設した  
太陽光発電所  
提供：SolAmerica Energy社

## 【中下流事業】（東南アジア）

### （東南アジア）

- ベトナムにおける天然ガス供給事業会社の設立
- タイにおける太陽光発電事業会社の設立
- 東南アジアの天然ガスインフラ会社AGPへの出資、戦略的協業契約の締結  
→ 国内エネルギー事業の知見を活かした**東南アジアにおける積極的な事業展開**



ベトナム・天然ガス供給事業会社

## 20.3期の主なトピックス①

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 西沖の山発電所(仮称)新設計画からの撤退</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 業界初の新技術「エリアセンサー」搭載のビルトインコンロ「AVANCE(アバンセ)」の発売</li> <li>➤ 太陽光発電の余剰電力買取サービスの開始</li> <li>➤ 「第36回無担保社債200億円」「第37回無担保社債200億円」(国内普通社債)を発行</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 防災科学技術研究所、大阪ガスの包括的連携に関する協定の締結</li> <li>➤ ベトナムにおける天然ガス供給事業会社の設立</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ タイにおける太陽光発電事業会社の設立</li> <li>➤ 新機能を搭載したコンロで手間を省いておいしく調理！ビルトインコンロ「クラスS」の新製品を発売</li> <li>➤ 海外で天然ガスインフラを開発するAGP International Holdings Pte. Ltd.への出資および戦略的協業契約の締結</li> <li>➤ 米国シェールガス開発会社Sabine Oil &amp; Gas Corporationの全株式取得</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ フリーポートLNGプロジェクトにおけるLNG生産開始</li> <li>➤ 「第38回無担保社債200億円」「第39回無担保社債50億円」「第40回無担保社債100億円」(国内普通社債)を発行</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 一人ひとりの最適に変化し続ける、多世代居住型健康まちづくり『Suita SST』の構想を策定</li> <li>➤ 「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス」に3年連続で選定</li> <li>➤ 神戸港におけるLNG燃料タグボート「いしん」へのLNG燃料供給トライアルの実施</li> <li>➤ お客様の楽しく・豊かな暮らしを応援する電気料金メニュー「ウイズプラン」設定と「ウイズradikoプラン」受付開始</li> <li>➤ 兵庫県姫路市における発電事業に関する投資意思決定</li> <li>➤ エネルギー分野における新たな関係会社の設立と当社組織の変更</li> <li>➤ 賃貸契約を効率化する企業間情報連携基盤の商用化に向け協創を加速</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ FITからの自立化を想定した太陽光発電量予測サービス実現に向けた実証の開始</li> <li>➤ CEATEC2019への初出展～Daigasグループが思い描く2030年の未来の暮らし～</li> <li>➤ 当社がガスヒートポンプエアコンの定期点検業務を委託するメンテナンス会社による不適正な作業(全メンテナンス会社に対する調査結果)</li> <li>➤ 不使用ガス管の不適切な管理</li> </ul>

## 20.3期の主なトピックス②

11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 公募型ハイブリッド社債(公募劣後特約付社債)の発行に関するお知らせ</li> <li>➢ タイ国コージェネレーション設備の高効率化事業 二国間クレジット制度に基づく設備補助事業への採択</li> <li>➢ 大阪ガスケミカル株式会社における公正取引委員会からの排除措置命令および課徴金納付命令</li> <li>➢ ウィズプラン第2弾! めっちゃおもしろい電気料金メニュー「ウィズよしもとプラン」の受付開始</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 公募ハイブリッド社債(劣後特約付社債)の発行条件決定に関するお知らせ</li> <li>➢ フリーポートLNGプロジェクトの商業運転開始</li> <li>➢ 米国フェアビュー天然ガス火力発電所の商業運転開始</li> <li>➢ 英国エネルギー小売事業会社Igloo Energy Supply Ltd.への出資参画</li> <li>➢ 日揮みらいソーラー株式会社の全株式取得</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 首都圏における電力販売事業の株式会社CDエナジーダイレクトへの承継</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 省エネと節電を実現するガス冷暖房システムの最新モデル「GHP XAIR(エグゼア)III」を開発</li> <li>➢ 世界最高の発電効率と大幅な小型化により設置性が向上した家庭用燃料電池「エネファームtype S」の新製品発売</li> <li>➢ 実験集合住宅「NEXT21」において新たに居住実験を開始</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 洋上風力発電事業に関する協力協定の締結</li> <li>➢ 分散型太陽光発電開発事業者SolAmerica Energy社への出資</li> <li>➢ 3電池住宅において新たな居住実験を開始</li> <li>➢ ウェストホールディングスとの再生可能エネルギー分野における新規事業の共同検討に関する基本覚書締結</li> </ul>
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 「扇島都市ガス供給株式会社」の都市ガス製造・供給設備の商業運転開始</li> <li>➢ 大阪ガスとNTT ComがAI自動音声対応によるコンタクトセンター受付サービスを開始</li> <li>➢ ドローンを活用したインフラ点検ソリューションを提供する株式会社ジャパン・インフラ・ウェイマークへの出資</li> <li>➢ 画像解析を中心に優れたAI技術を保有するベンチャー企業株式会社HACARUSへの出資</li> </ul>

## II. 20.3期決算と21.3期見通しの概要

## 20.3期決算及び21.3期見通しのポイント

### 2020.3期決算 対前年同期比較

売上高	概ね前年並みの1兆3,686億円
経常利益	ガス事業におけるスライド影響、ガス事業費用の減少等により、 前年比36.3%(229億円)増益の860億円 スライド差益は65億円(前年は132億円のスライド差損)
親会社株主に帰属する当期純利益	前年度に特別損失に計上したのれんの一括償却の反動等はあるが、 特別損失に海外上流事業における減損損失を計上したこと等により、 前年比24.4%(81億円)増益の417億円

### 2021.3期見通し 対前年比較

売上高	LNG販売量、電力販売量の増加等により、 前年比9.1%(1,243億円)増収の1兆4,930億円
経常利益	フリーポートLNGプロジェクトの商業運転開始、北米上流事業会社の 新規連結影響等より、前年比16.3%(139億円)増益の1,000億円 スライド差損は35億円(前年は65億円のスライド差益)
親会社株主に帰属する当期純利益	前年度に特別損失に計上した海外上流事業における減損損失の反動等 により、前年比74.7%(312億円)増益の730億円

## 21.3期見通しについて

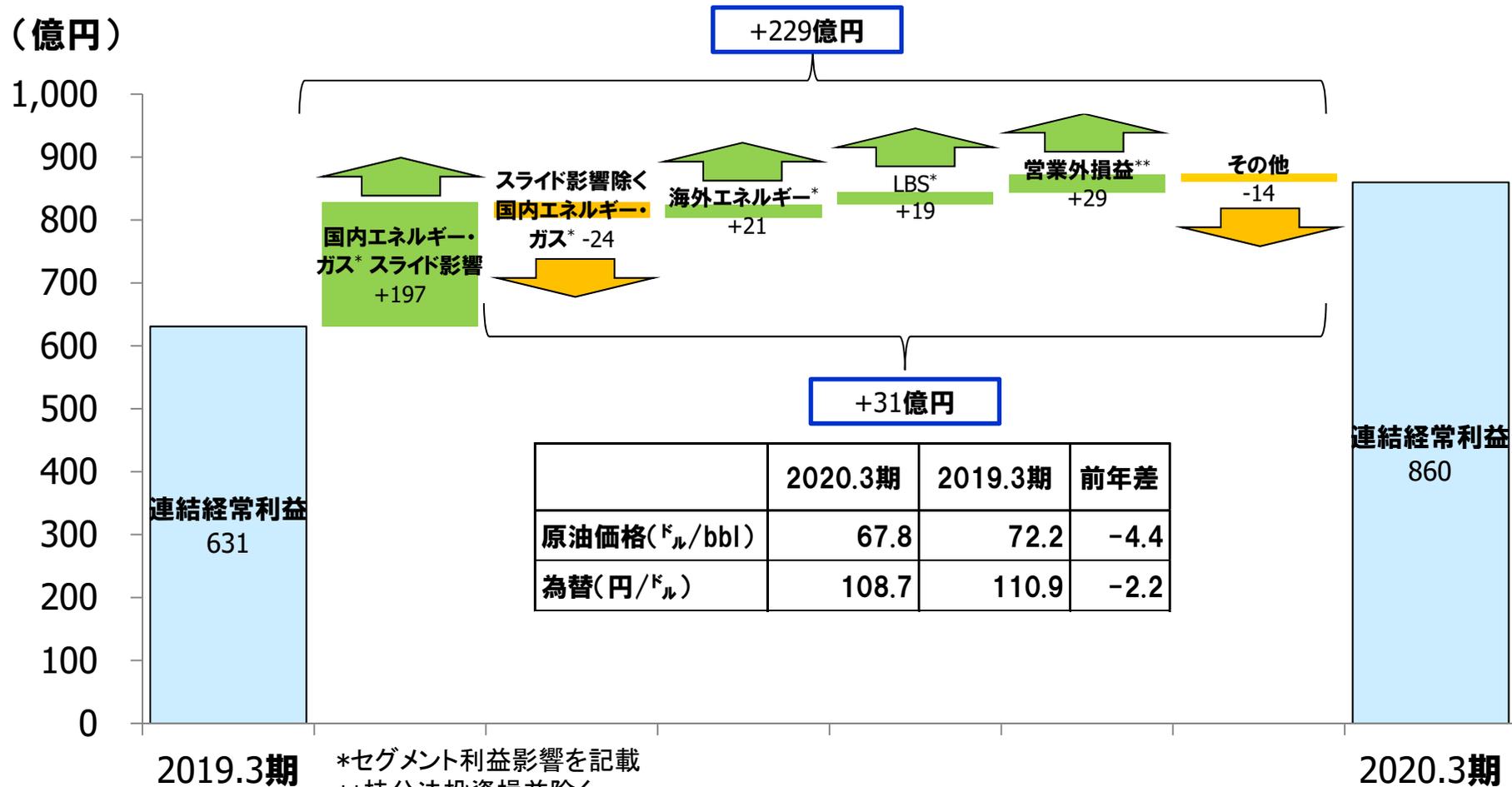
- 新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による経済活動への影響や原油価格の下落が発生
- 当社グループの業績への影響が想定されるが、現時点で影響額の算定が困難なため、2020年3月公表の経営計画から、見通しの修正は実施しない
- 業績への影響が合理的に算定可能となった時点で適宜修正・公表を行う

### 【新型コロナウイルス感染症の拡大が業績に与える影響(想定)】

国内エネルギー事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済活動縮小によるホテル・飲食業をはじめとしたエネルギー需要の減少とLNG需給の緩和</li> <li>・ 営業活動縮小によるエネルギー需要開発・新規需要獲得、器具・サービス販売の減少</li> <li>・ 原油価格下落によるスライド影響</li> <li>※ 当社内での感染防止対策の徹底やLNG調達国の分散等によりエネルギーの安定供給は維持</li> </ul>
海外エネルギー事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原油価格下落による上流事業の業績低下</li> <li>・ 中下流事業におけるエネルギー価格の変動</li> </ul>
ライフ&ビジネスソリューション事業(LBS)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済活動縮小によるLBS事業全般における販売低下</li> </ul>
成長投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設工事の進捗遅延</li> <li>・ 新規案件への投資活動への影響</li> </ul>

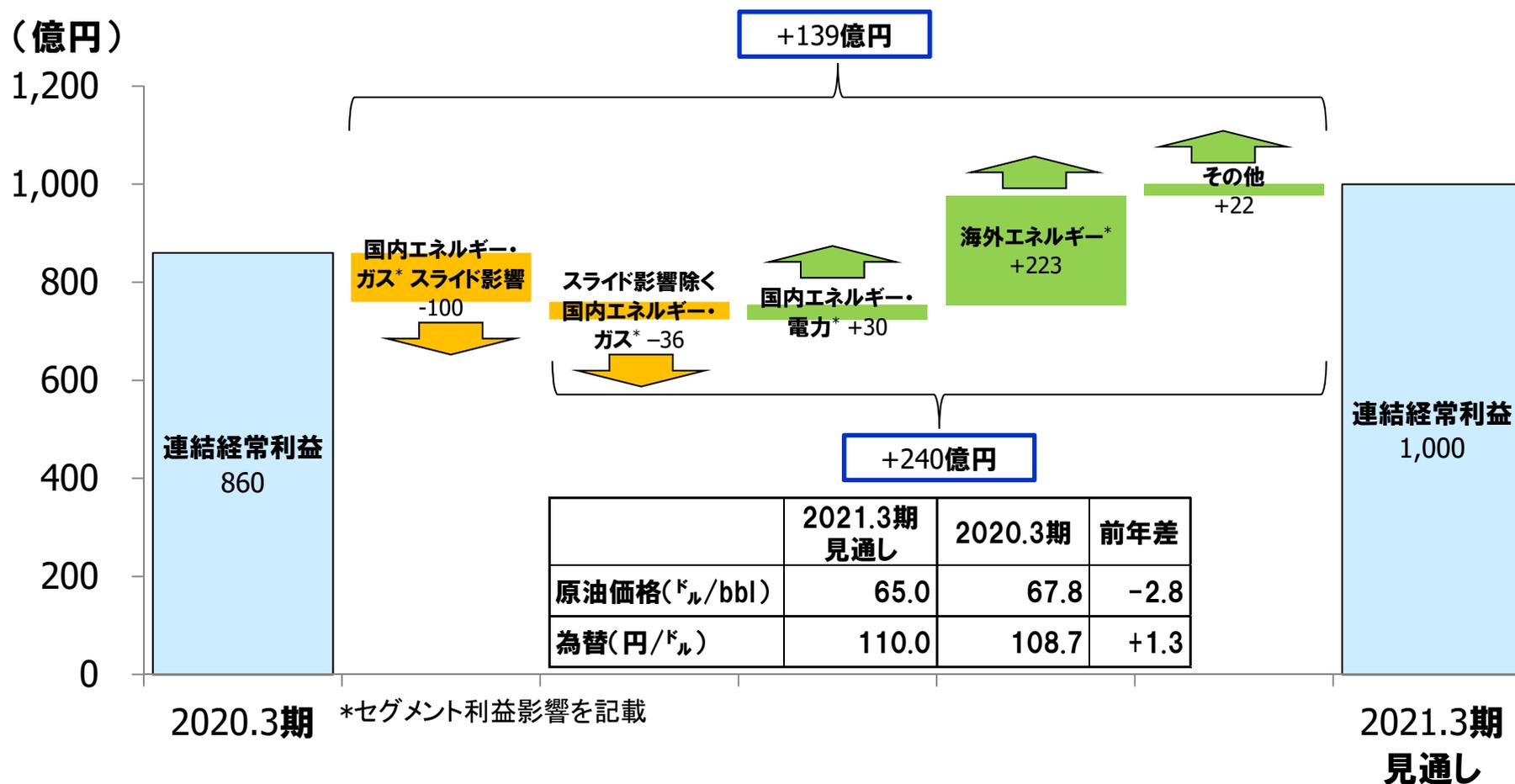
# 20.3期決算の対前年比較

- 2020年3月期の連結経常利益は、国内エネルギー・ガス事業におけるスライド影響等により、対前年+229億円の860億円
- スライド影響を除いても、海外エネルギー事業の増益等により対前年+31億円



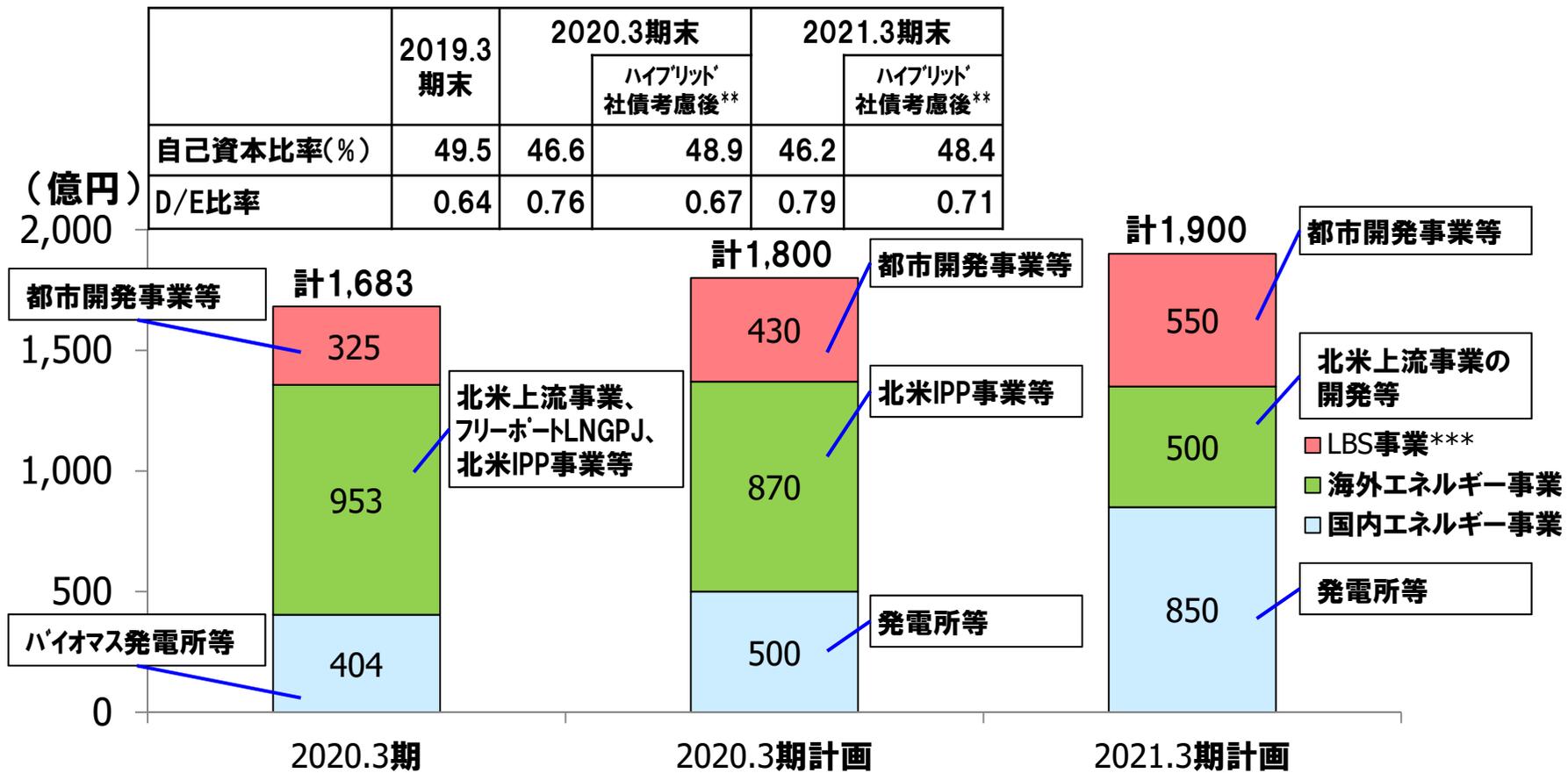
## 21.3期見通しの対前年比較

□ 2021年3月期の連結経常利益見通しは、フリーポートLNGプロジェクトの商業運転開始、北米上流事業会社の新規連結による海外エネルギー事業の増益等により、対前年+139億円の1,000億円



# 成長投資

- 2020年3月期は、海外上流・中下流事業、再生可能エネルギー電源を中心に1,683億円の投資を  
実行
- 2021年3月期は、投資意思決定済の発電所、海外上流事業の開発等を中心に1,900億円を計画
- 財務健全性指標は、自己資本比率50%程度、D/E比率0.7程度を維持



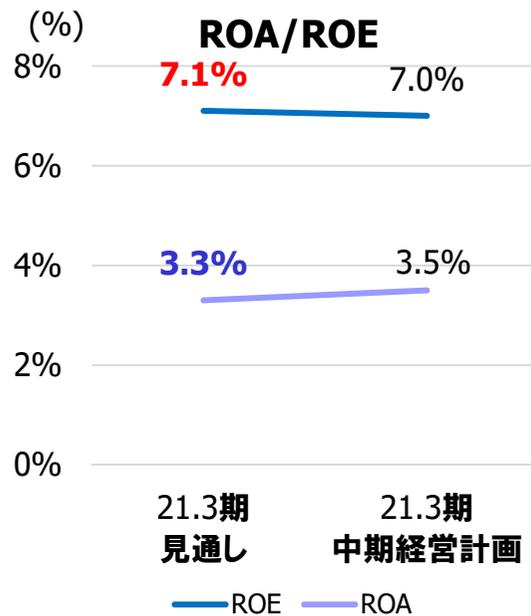
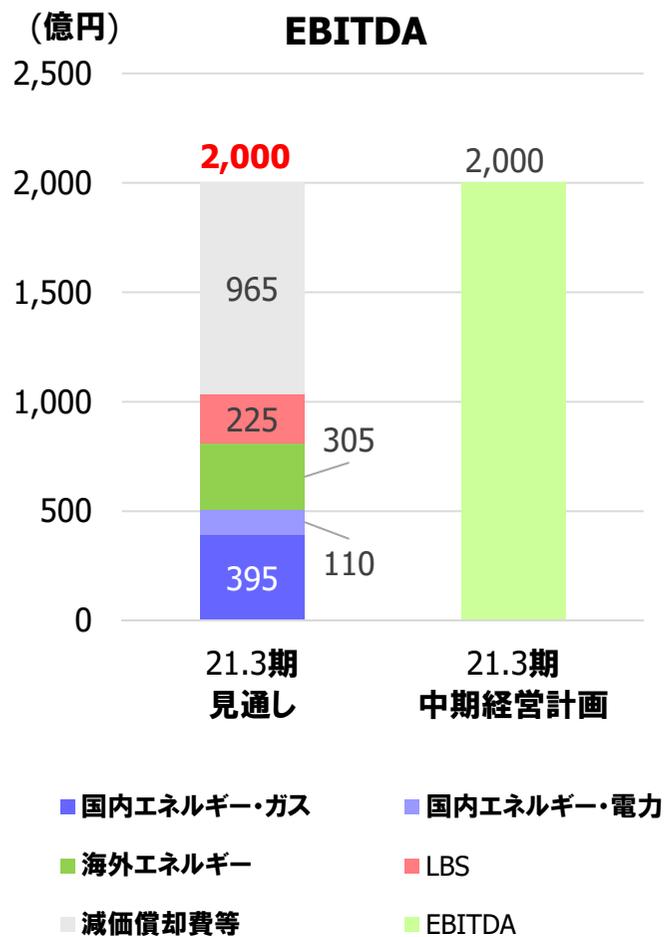
\* 投資実行額には設備投資案件と投融資案件の両方を含むため、設備投資の実績値とは異なります。

\*\* 発行済ハイブリッド社債1,000億円の資本性50%を調整

\*\*\* LBS: ライフ&ビジネス ソリューション

# 中期経営計画(18.3期-21.3期)の進捗

- EBITDA、ROEは、海外エネルギー事業の増益等により、中期経営計画の目標を達成する見通し
- ROAは、成長投資が想定以上に進捗したことにより、中期経営計画の目標をやや下回る見通し
- 新型コロナ感染拡大の影響や原油価格の水準について注視が必要

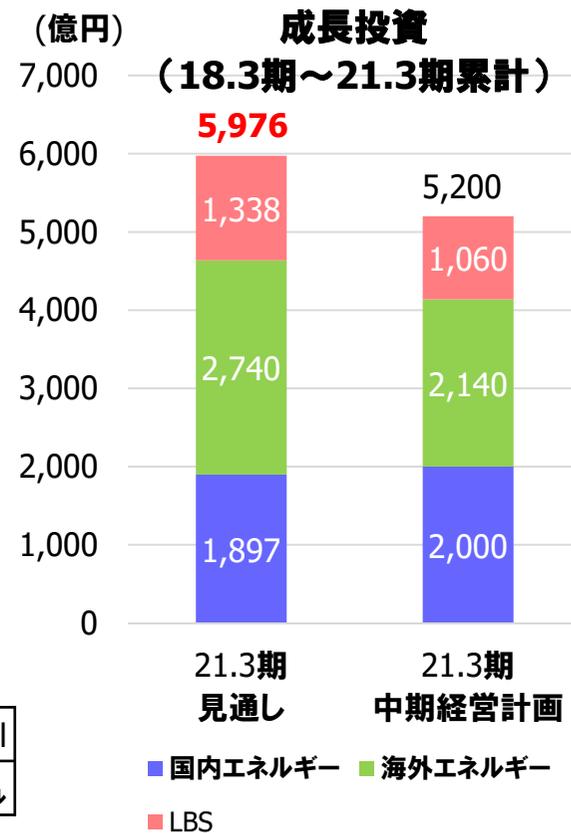


21.3期見通し前提

原油価格	65 <sup>ドル</sup> /bbl
為替	110円/ <sup>ドル</sup>

利益感度

原油価格 $\Delta 1^{\text{ドル}}/\text{bbl}$	約+6億円
為替 $\Delta 1\text{円}/^{\text{ドル}}$	約+8億円



### III. 20.3期決算と21.3期見通し

## 20.3期実績I

連結:億円 ( ()内は連単倍率)	A. 20.3期	B. 19.3期	A-B	(A-B) / B (%)	備考
売上高	(1.26) 13,686	(1.24) 13,718	-31	-0.2%	
営業利益	(1.83) 837	(2.43) 679	+158	+23.3%	ガス事業におけるスライド影響、 ガス事業費用の減少等
経常利益	(1.47) 860	(1.56) 631	+229	+36.3%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	(0.93) 417	(1.34) 336	+81	+24.4%	特別損失としてののれんの一括 償却の反動、海外上流事業に おける減損損失の計上等
EBITDA*	1,809	1,599	+210	+13.1%	
スライド差損益	65	-132	+197	-	
スライド差損益控除後 経常利益	795	763	+31	+4.1%	
原油価格**	\$/bbl	67.8	72.2	-4.4	
為替レート	円/\$	108.7	110.9	-2.2	

\* EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費(のれんの一括償却除く)+持分法投資損益

\*\* 20.3期原油価格実績は、3月速報値までの平均

## 20.3期実績II

単位:億円	売上高			セグメント損益*			備考
	A.20.3期	B.19.3期	A-B	A.20.3期	B.19.3期	A-B	
国内エネルギー・ガス	9,737	10,126	-388	531	358	+173	利益:スライド影響、ガス事業費用の減少等
国内エネルギー・電力	2,048	1,843	+205	79	87	-8	利益:販売単価低下、営業経費の増加、発電所計画外停止等
海外エネルギー	612	404	+207	81	59	+21	利益:北米IPP事業における増益等
ライフ&ビジネスソリューション	2,194	2,109	+85	196	177	+19	利益:材料ソリューション事業における増益等
消去又は全社	-906	-764	-141	1	8	-7	
連結	13,686	13,718	-31	890	690	+199	

\* セグメント損益=営業損益+持分法投資損益

内、ヘッジ会計適用外のDV時価評価影響  
20.3期 -25 19.3期 -19 前年差 -6

## 20.3期実績III

連結:億円 ( ()内は連単倍率)	A. 20.3期	B. 20.3期 見通し	A-B	(A-B) / B (%)	備考
売上高	(1.26) 13,686	(1.25) 14,190	-503	-3.5%	
営業利益	(1.83) 837	(1.83) 840	-2	-0.2%	
経常利益	(1.47) 860	(1.43) 810	+50	+6.2%	海外上流事業の増益等
親会社株主に帰属する 当期純利益	(0.93) 417	(1.19) 510	-92	-18.1%	海外上流事業における減損損失の計上等
EBITDA*	1,809	1,732	+77	+4.5%	
スライド差損益	65	69	-3	-	
スライド差損益控除後 経常利益	795	740	+54	+7.3%	
原油価格**	\$/bbl	67.8	67.1	+0.7	
為替レート	円/\$	108.7	109.0	-0.3	

\* EBITDA = 営業損益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 持分法投資損益

\*\* 20.3期原油価格実績は、3月速報値までの平均

## 20.3期実績IV

単位:億円	売上高			セグメント損益*			備考
	A.20.3期	B.20.3期 見通し	A-B	A.20.3期	B.20.3期 見通し	A-B	
国内エネルギー・ ガス	9,737	10,155	-417	531	515	+16	利益:関係会社の増益等
国内エネルギー・ 電力	2,048	2,110	-61	79	70	+9	利益:概ね見通し並み
海外エネルギー	612	555	+57	81	65	+16	利益:上流事業の増益等
ライフ&ビジネス ソリューション	2,194	2,160	+34	196	200	-3	利益:概ね見通し並み
消去又は全社	-906	-790	-116	1	15	-13	
<b>連結</b>	<b>13,686</b>	<b>14,190</b>	<b>-503</b>	<b>890</b>	<b>865</b>	<b>+25</b>	

\* セグメント損益=営業損益+持分法投資損益

## 20.3期実績V

連結:億円	A. 20.3期末	B. 19.3期末	A-B	備考
総資産	21,404	20,297	+1,107	北米上流事業会社の新規連結等
自己資本	9,974	10,043	-68	
有利子負債	7,540	6,474	+1,065	社債発行等
在籍人員(人)	20,543	20,224	+319	Jacobi等
自己資本比率 (ハイブリッド社債考慮後*)	46.6% (48.9%)	49.5% (49.5%)	-2.9% (-0.5%)	
D/E比率 (ハイブリッド社債考慮後*)	0.76 (0.67)	0.64 (0.64)	+0.11 (+0.03)	
連結:億円	A. 20.3期	B. 19.3期	A-B	備考
設備投資	1,310	1,072	+237	
減価償却費	919	997	-78	前年度ののれん一括償却の反動等
フリーキャッシュフロー**	1,253	209	+1,044	運転資本の減等
ROA	2.0%	1.7%	+0.3%	
ROE	4.2%	3.4%	+0.8%	
EPS(円/株)	100.5	80.8	+19.7	
BPS(円/株)	2,399.1	2,415.4	-16.3	

\*発行済ハイブリッド社債1,000億円の資本性50%を調整

\*\*フリーキャッシュフロー=営業活動によるキャッシュ・フロー(税引後営業利益+減価償却費等非現金支出)-品質向上投資による支出

## 21.3期見通しI

連結:億円 ( ()内は連単倍率)	A. 21.3期 見通し	B. 20.3期	A-B	(A-B) / B (%)	備考
売上高	(1.28) 14,930	(1.26) 13,686	+1,243	+9.1%	LNG販売量、電力販売量増等
営業利益	(2.94) 910	(1.83) 837	+72	+8.6%	海外エネルギー事業における増益等
経常利益	(2.56) 1,000	(1.47) 860	+139	+16.3%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	(2.43) 730	(0.93) 417	+312	+74.7%	前年度の海外上流事業における減損損失の反動等
EBITDA*	2,000	1,809	+190	+10.5%	
スライド差損益	-35	65	-100	-	
スライド差損益控除後 経常利益	1,035	795	+240	+30.2%	海外エネルギー事業における増益等
原油価格**	\$/bbl	65.0	67.8	-2.8	
為替レート	円/\$	110.0	108.7	+1.3	

\* EBITDA = 営業損益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 持分法投資損益

\*\* 20.3期原油価格実績は、3月速報値までの平均

## 21.3期見通しII

単位:億円	売上高			セグメント損益*			備考
	A.21.3期 見通し	B.20.3期	A-B	A.21.3期 見通し	B.20.3期	A-B	
国内エネルギー・ ガス	9,935	9,737	+197	395	531	-136	利益:スライド影響等
国内エネルギー・ 電力	2,410	2,048	+361	110	79	+30	利益:電力販売量増等
海外エネルギー	875	612	+262	305	81	+223	利益:フリーポートLNGプロジェクト商業運転開始、北米上流事業会社の新規連結影響等
ライフ&ビジネス ソリューション	2,260	2,194	+65	225	196	+28	利益:材料ソリューション事業の増益等
消去又は全社	-550	-906	+356	-	1	-1	
<b>連結</b>	<b>14,930</b>	<b>13,686</b>	<b>+1,243</b>	<b>1,035</b>	<b>890</b>	<b>+144</b>	

\* セグメント損益=営業損益+持分法投資損益

## 21.3期見通しIII

連結:億円	A. 21.3期末 見通し	B. 20.3期末	A-B	備考
総資産	22,852	21,404	+1,447	成長投資の進捗等
自己資本	10,568	9,974	+593	
有利子負債	8,344	7,540	+804	資金調達等
在籍人員(人)	21,450	20,543	+907	Jacobi, オージス総研G等
自己資本比率	46.2%	46.6%	-0.4%	
(ハイブリッド社債考慮後*)	(48.4%)	(48.9%)	(-0.5%)	
D/E比率	0.79	0.76	+0.03	
(ハイブリッド社債考慮後*)	(0.71)	(0.67)	(+0.04)	

連結:億円	A. 21.3期	B. 20.3期	A-B	備考
設備投資	2,030	1,310	+719	成長投資の進捗等
減価償却費	956	919	+37	
フリーキャッシュフロー**	893	1,253	-360	運転資本の増等
ROA	3.3%	2.0%	+1.3%	
ROE	7.1%	4.2%	+2.9%	
EPS(円/株)	175.6	100.5	+75.1	
BPS(円/株)	2,541.7	2,399.1	+142.6	

\*発行済ハイブリッド社債1,000億円の資本性50%を調整

\*\*フリーキャッシュフロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー(税引後営業利益＋減価償却費等非現金支出)－品質向上投資による支出

## 20.3期販売実績

### ■ ガス販売

\*ガス供給件数=取付メーター数 - 閉栓中メーター数(空家等) - 他社ガス供給件数

\*\*用途別の差異要因はP.30・31に記載

45MJ/m <sup>3</sup>	20.3期見通し	A. 20.3期	B. 19.3期	A-B	(A-B)/B (%)
個					
ガス供給件数(千件、期末時点)*	-	5,225	5,553	-328	-5.9%
新設工事件数(千件)	-	110	104	+6	+5.4%
家庭用1戸当り販売量(m <sup>3</sup> /月)	-	29.2	28.7	+0.5	+1.7%
別					
家庭用**	1,824	1,798	1,892	-94	-4.9%
業務用等**	5,736	5,526	6,010	-483	-8.0%
ガス販売量合計(百万m <sup>3</sup> )	7,560	7,324	7,901	-577	-7.3%
連結ガス販売量	7,599	7,362	7,935	-573	-7.2%

### ■ 電力販売(連結)

	20.3期見通し	A. 20.3期	B. 19.3期	A-B	(A-B)/B (%)
小売	-	4,617	3,457	+1,160	+33.5%
卸等	-	8,572	8,196	+377	+4.6%
国内電力販売量(百万kWh)	13,172	13,189	11,653	+1,536	+13.2%
低圧電気供給件数(千件、期末時点)	-	1,322	945	+377	+39.9%

### ■ お客さまアカウント(連結)

	20.3期見通し	A. 20.3期末	B. 19.3期末	A-B	(A-B)/B (%)
お客さまアカウント数(万件)	900	910	875	+36	+4.1%

## 21.3期販売見通し

### ■ ガス販売

\*用途別の差異要因はP.30・31に記載

45MJ/m <sup>3</sup>		A. 21.3期見通し	B. 20.3期実績	A-B	(A-B)/B (%)
個	家庭用*	1,770	1,798	-28	-1.6%
別	業務用等*	5,552	5,526	+26	+0.5%
ガス販売量合計(百万m <sup>3</sup> )		7,322	7,324	-2	-0.0%
連結ガス販売量		7,358	7,362	-4	-0.1%

### ■ 電力販売(連結)

	A. 21.3期見通し	B. 20.3期実績	A-B	(A-B)/B (%)
国内電力販売量(百万kWh)	16,567	13,189	+3,378	+25.6%

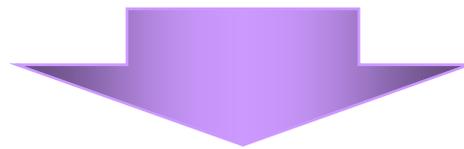
### ■ お客さまアカウント(連結)

	A. 21.3期末見通し	B. 20.3期末	A-B	(A-B)/B (%)
お客さまアカウント数(万件)	930	910	+20	+2.2%

# 家庭用ガス販売 20.3期実績、21.3期見通し

## 20.3期実績

	対前年	備考
調定件数	-4.3%	他社へのスイッチング等
気水温影響	+0.9%	平均気温17.8度(対前年 +0.1度)
その他	-1.5%	ガス機器の高効率化、世帯人数減少等
合計	-4.9%	



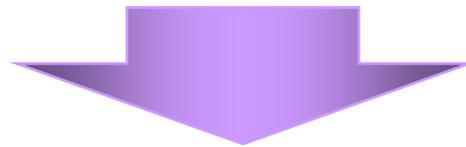
## 21.3期見通し

- 平年気水温を前提とした気水温影響の反動による増加はあるが、離脱影響等を織込むことで、前年比-1.6%、28百万m<sup>3</sup>減の1,770百万m<sup>3</sup>を見込む。

# 業務用等ガス販売 20.3期実績、21.3期見通し

## 20.3期実績

	対前年	備考
需要開発	+1.1%	設備導入、燃料転換等
気水温影響	-0.1%	
設備稼働増減	-2.5%	
個別要因	-6.6%	他社へのスイッチング、特定のお客さま先での減少等
その他	+0.0%	
合計	-8.0%	



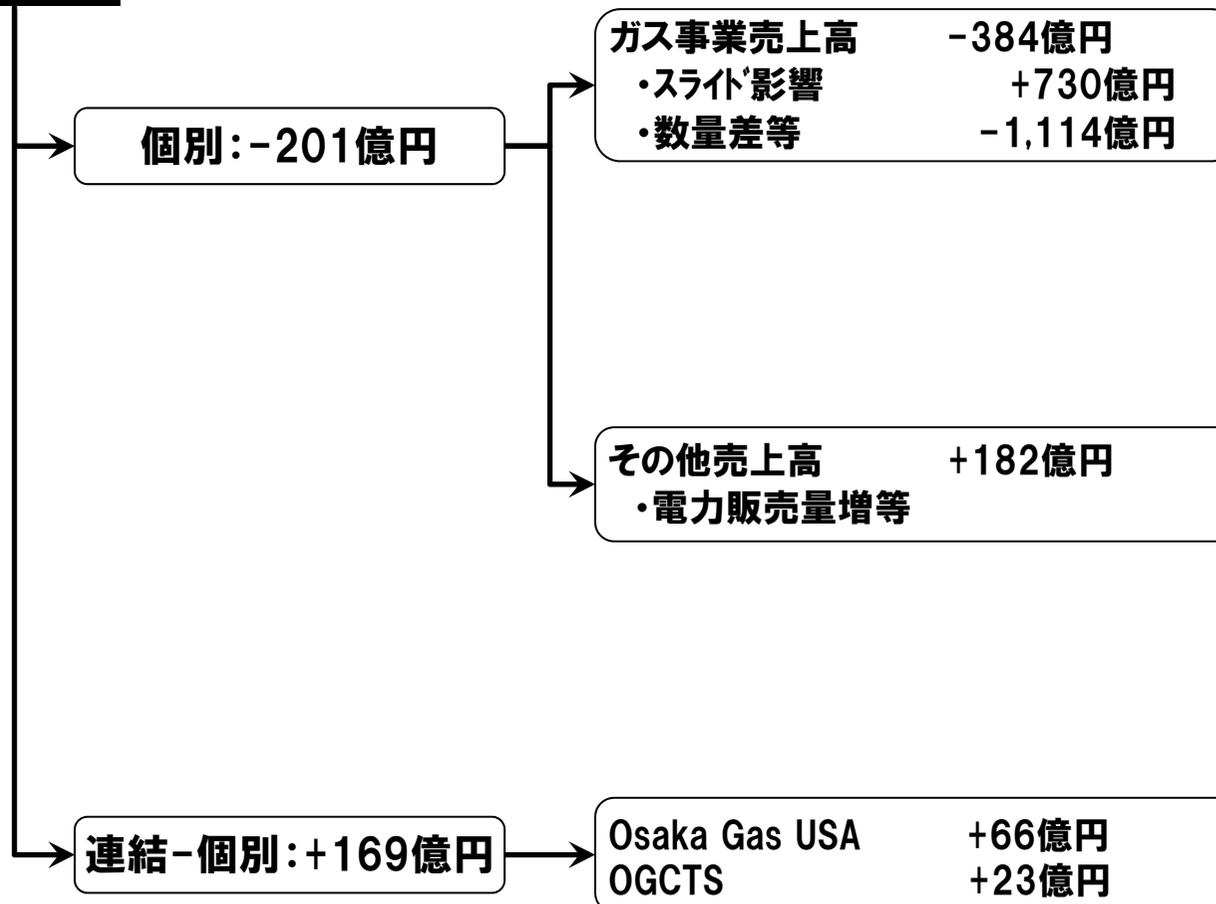
## 21.3期見通し

- 離脱影響はあるが、お客さま先での設備稼働増、需要開発等を織り込むことで、前年比+0.5%、26百万m<sup>3</sup>増の5,552百万m<sup>3</sup>を見込む。

## IV. 參考資料

## 20.3期の売上高差異(対前年)

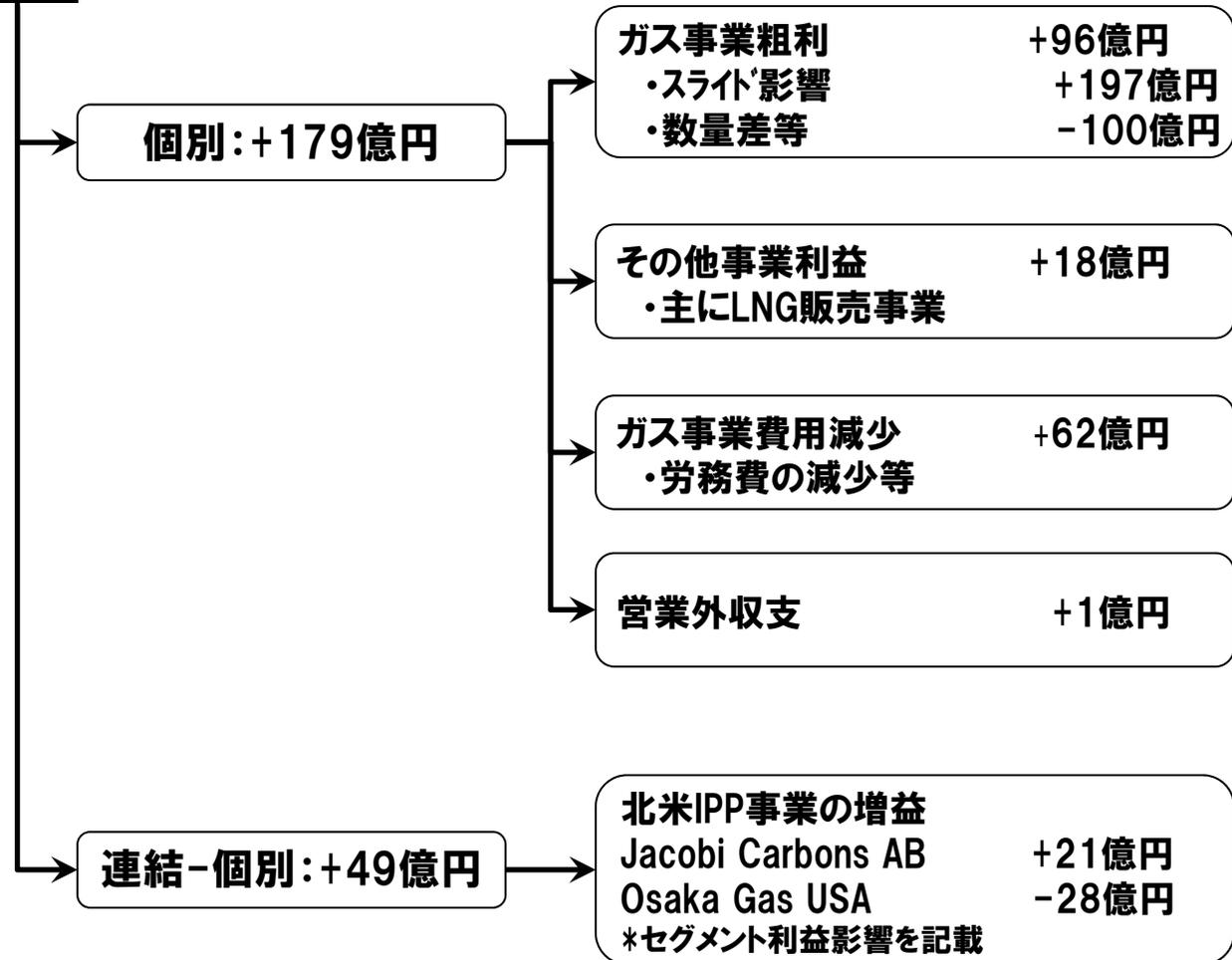
19.3期 → 20.3期 (差異)  
 13,718億円 13,686億円 (-31億円)



# 20.3期の経常利益差異(対前年)

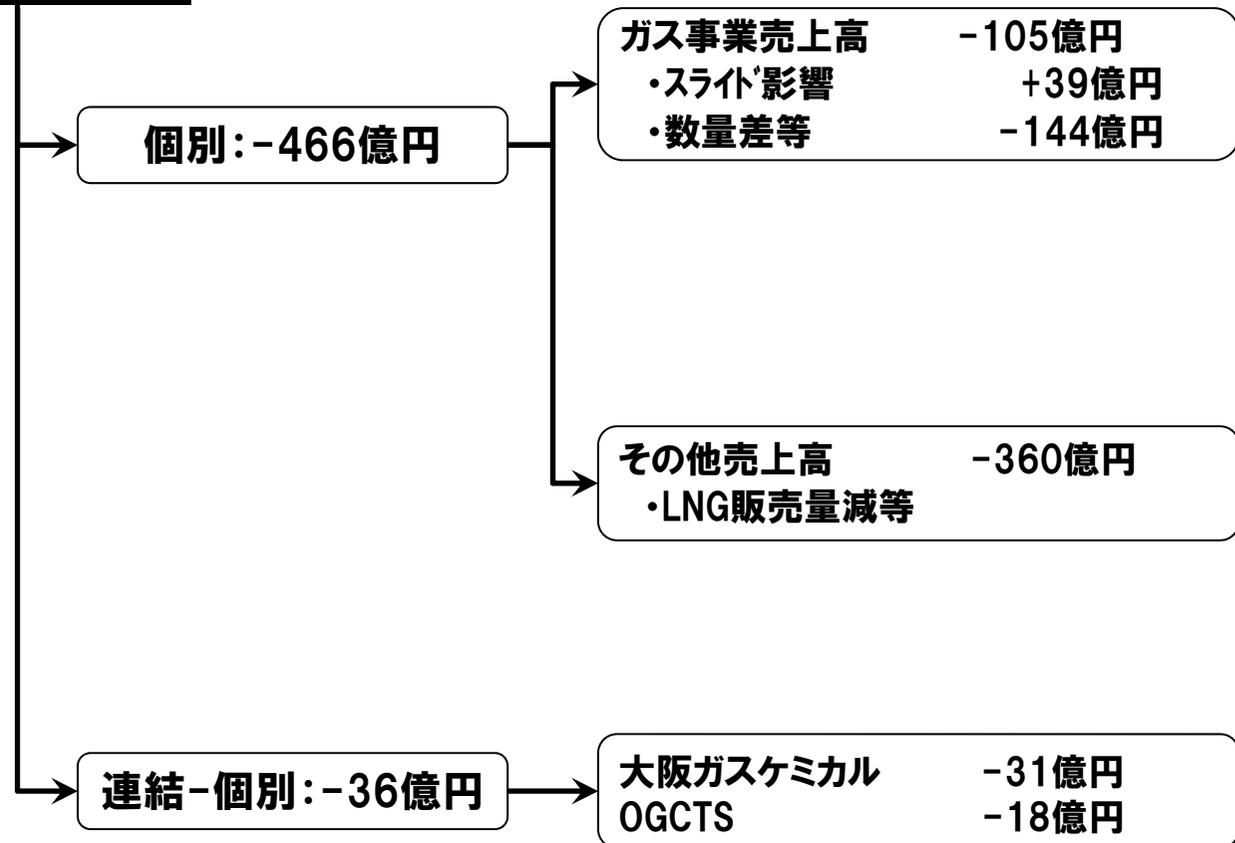
19.3期 → 20.3期 (差異)  
 631億円 → 860億円 (+229億円)

+-の符号は利益への影響を表す。



## 20.3期の売上高差異(対見通し)

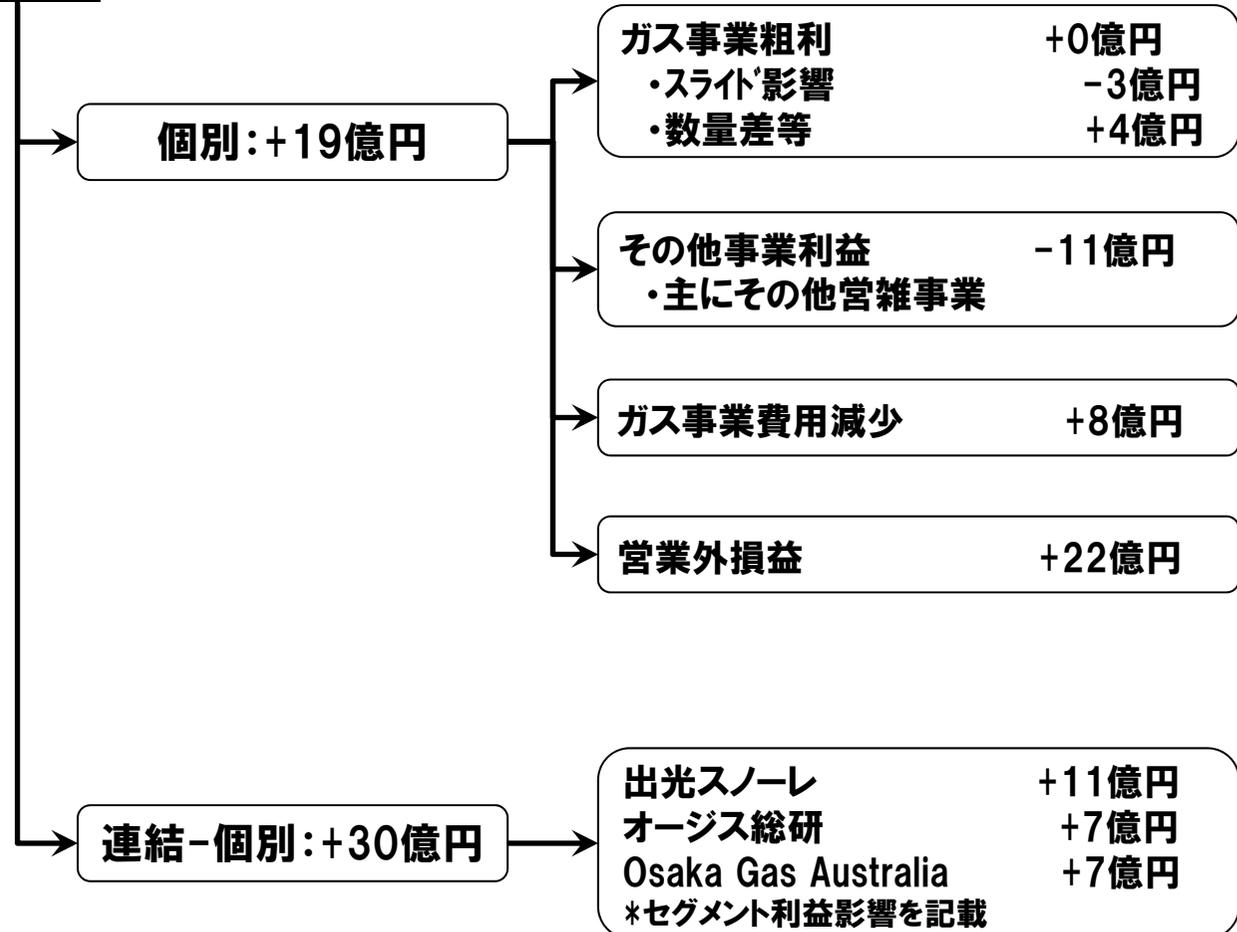
20.3期見通し → 20.3期 (差異)  
 14,190億円 13,686億円 (-503億円)



# 20.3期の経常利益差異(対見通し)

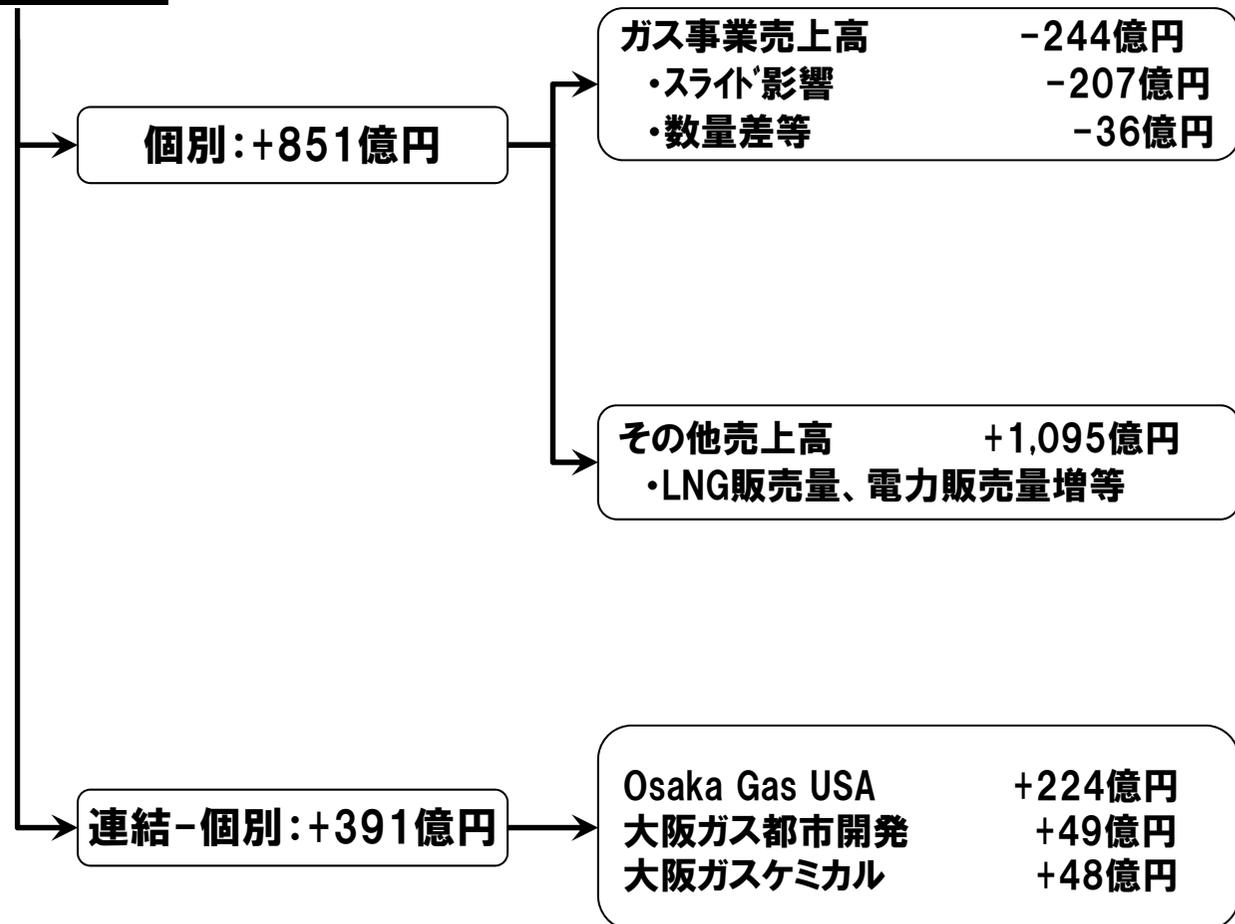
20.3期見通し → 20.3期 (差異)  
 810億円      860億円 (+50億円)

+-の符号は利益への影響を表す。



## 21.3期見通しの売上高差異(対前年)

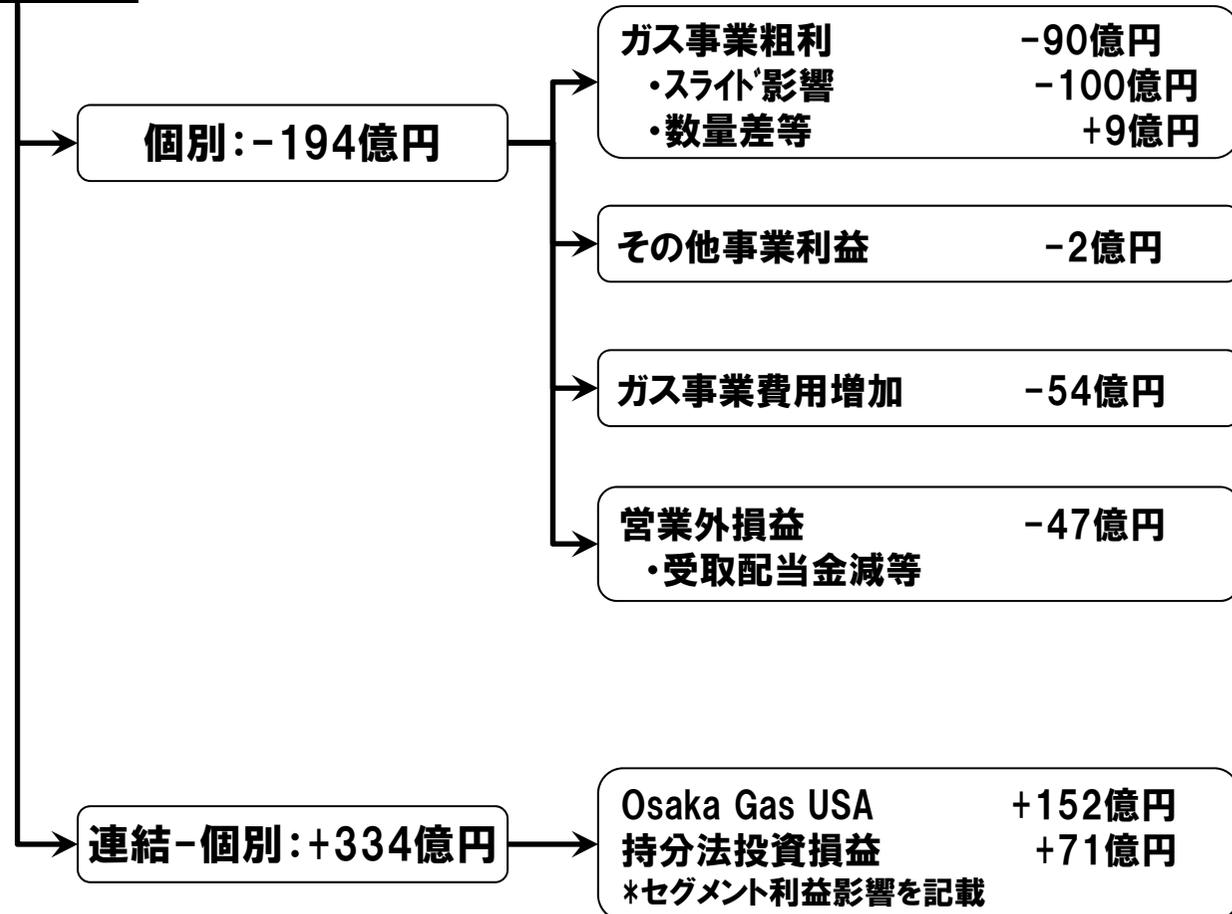
20.3期 → 21.3期見通し(差異)  
 13,686億円 14,930億円 (+1,243億円)



## 21.3期見通しの経常利益差異(対前年)

20.3期 → 21.3期見通し(差異)  
 860億円 1,000億円 (+139億円)

+-の符号は利益への影響を表す。



## 年度見通しに対するリスク要因

### ■ 気温・水温

- 気温・水温1度の変化に対し、家庭用ガス販売量は、春秋期約7%・夏期約8%・冬期約6%変動する可能性がある。

### ■ 原油価格

- LNG価格が原油価格にリンクすることなどから、原油価格+1\$/bblの変化に対し、21.3期の連結経常利益は約-6億円変動する可能性がある。

### ■ 為替レート

- LNG価格が米\$・円の為替レートにリンクすることなどから、為替レート+1円/\$の変化に対し、21.3期の連結経常利益は-8億円変動する可能性がある。

### ■ 原料費

- 原料費調整制度によって、中長期的には原料費の変動はガス料金に転嫁されるが、反映までのタイムラグや原料調達先の構成によって、業績に影響を与える可能性がある。

### ■ 金利

- 金利+1%の変動に対し、21.3期の連結営業外費用が年間+19億円変動する可能性がある。

以 上